

# 「1.17メッセージ」応募用紙

高知 Canada Victoria に移住して以来太平洋を隔て約 10 年が経ち、海外結婚をした人もあり、又日本の震災時を歴史に刻み込ませたいと、神戸の記念事業に「和魂」も此處にあり、と所信を述べ、気持ちにかなう色紙を（なか）とした。VanCouver に移住する移民又は Visitor など存じたい事と思ひます。  
 “和魂”と関連するもの、雑誌に「入国」の「和魂」が（又）当分の今迄の往事を（のび）筆よせたりも所望致しす。  
 皆様と益々の御活躍や健康と孫に育つへの思いを込めて  
 参加者一同

(お名前) 山本 幸吉

(年齢) 70

(ご住所) 高知市の佐野  
兵庫 都道府県 芦屋 市 郡

E-Mail: Seniorsfortoday@shaw.ca  
 日加福祉文化交流



Victoria 見聞録  
by Kay T. 長原 聡子  
Victoria からの日本語ミニコミ誌、  
Victoria 見聞録を発行し、生活情  
報を提供して下さる。Victoria に在住の  
日本人の皆様、お役に立ちたい情報を  
提供し、お返しはいたしません。  
Email: vickenz1@hotmail.com



震災の時は中学3年生  
避難所で勉強勉強を  
していたのを昨日の様に  
思い出します。私の大好きな  
神戸が本当の意味で完全にお  
復興されるのを心より祈っています。  
長田出身 西河原 聡子

10年経たず、様々短く、その当時  
は病室で看護婦として働いて  
いました。その直後の様に  
西原伊豆やTara 知子さんや知子  
さん、三子や、おじいさんの顔を  
見ることが出来ず、おじいさん  
からお土産物資が、おじいさん  
の温かい手紙も届き、避難者達の  
皆様の家族の命の傷が癒えよう  
と祈ります。東灘区出身 坂井 陽子

私も当時、成人式をむすべと友人  
と共に旧正月の後の事。その  
為の方か、大切なものをなくし  
て、いろいろな意味で傷ついた  
事だと思います。見目、兵庫へ、帰り、  
何事かおぼろしい景色を見ました。お  
皆様の中にはおぼろしい傷が  
あつたと思います。神戸の元  
震災におかれた方すべてが、旧正月  
早く癒される様に、心からお祈り  
いたします。 長原 聡子 坂井 陽子

忘れもしない、1995年1月17日、早朝に突然家が激しく揺れ、ゴォーという音...  
気が付くと、テレビが揺れ、本棚が倒れて、窓ガラスが割れていた。幸いにケガはなし。  
当時は、私は臨月で、2月10日が予定日でした。窓から外を見ると、あちこちからけむりが上がり、  
いぼりくすると、ヘリコプターが飛び回り... やっ、大地震ということに気が付きました。  
外に出ると、電柱は倒れ、アパートはつぶれ、道路は地割れしている。その日は近くの小学校に  
避難し、一夜も過ごした。夜になってやっと救急物資をのせた車が到着し、1人おにきり1人の  
配給があったのを覚えています。ガス、水、電気なしの生活の不自由さを体験しました。  
お産をするはずの産院もライフラインが断たれていたため、急遽、伊丹市の祖父宅に避難し、  
そこで、予定日より3週間早く、女児も無事出産。震災から8日後でした。多くの犠牲者の中で  
生まれた1つの命... その時、命の重み、尊さというものを、感じずにはいらなかった。  
生き残った私たちには、尊い命をなくされた人々の分まで、精一杯生きていく義務があると思います。  
日本のすべての皆さんが、命を大切にして生きていてほしいと願います。  
今娘は9才、ニビクトリアで、元気にスクスクと成長しています。西宮市出身、セントシアカおひ  
息子(7才)は、カナダで生まれました。



カナダ  
ビクトリアから

震災の時の記憶は身に鮮明に  
おぼえておられます。あの時私の  
知っている人々が、避難者になり、  
苦節も知っていました。  
あの時の記憶は消えぬ事  
私の心の中に一生残ります。  
震災におかれた方が、この人が  
癒される事を祈っております。  
高槻市 武田 京子

光陰天女の心!! 当時Member同志の中間年新しい生活  
自己実現とArcadia構想で、おうちHouse建設を  
練り、最早の心、友人知人も亡く、一生懸命に  
私でした。国道2号線沿いの東灘区に隣接した我が家は  
全壊。新築申請書特別調整区域に指定され再建能  
'91年の10月に住みかた福祉の族、研修以来、下道にて  
いたVictoriaに前年秋頃まで、いり、機に移民決定。  
新築費の額が、おうちHouse建設と、おうちHouse  
して、日加福祉文化交流の会、おうちHouse、おうちHouse  
で活動した。今年、おうちHouse、おうちHouse、おうちHouse  
のVictoriaです。10年の節目にVictoria Chamber  
Orchestraの演奏に、おうちHouse、おうちHouse、おうちHouse  
思い、おうちHouse、おうちHouse、おうちHouse、おうちHouse  
E-Mail: Seniorsfortoday@shaw.ca



メッセージ: 昨年まで大津市に在住しておりました。今は異国での生活をしていますが、この日が近づくとその日の惨劇にいつも心が痛みます。私にとっての神戸は特別な物で憧れの地であり、そして色々な思い出が一杯詰まった場所なのです。震災前から頻りに訪れることがありその度に好きになって行った街が、あの一瞬の出来事で数千もの尊い命や美しい街並みを奪い去っていった事に“自分に何が出来ないか!!”といっても経ってもいられずに車を走らせ涙ながらにボランティア活動をさせて頂きました。あのときを思い出すと人間と言う者の“小ささ”、逆に“大きさ”の双方を全身に実を持って感じました。その後神戸は著しく復興を成し遂げていると誰もが感じているのかもしれませんが、自然災害の恐ろしさ・人と人で創れる未知の力を生涯忘れることなく、生きていきたいと思ひます。2年後、一時帰国した際には一番に“元気な神戸”へ足を運ぶつもりです。ラジオ放送は聞けませんが、これからも神戸だけといわずに、多岐にわたるリスナーに愛されるRADIO STATIONであってください。そして、尊い人命を奪うような災害、戦争が永久にないことも合わせてBrasilから心より祈念致します。

名前: 西條 正剛(さいじょう せいこう)

年齢: 35

住所:

SAOPAULO-BRASIL